

2014年5月27日

【アピタルがん夜間学校】  
もっと知ってほしいがんと食事・栄養のこと  
アンケート結果及びご寄付の報告

2014年5月21日（水）秋葉原UDXシアターにて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。157名の方にお申し込み頂き、当日は113名の方が参加され、うち、72名の方からご意見を頂きました。（回収率63.7%）。

頂きましたコメントは、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原則全て記載し紹介しています。

当セミナーにて参加者の方々から頂きましたご寄付は18,384円です。頂きましたご寄付はCNJのがん啓発活動などを運営する資金に充てさせて頂きます。皆様のサポートに心から感謝いたします。ありがとうございます。

（1）今回のセミナーはどのような媒体でお知りになりましたか？

① CNJのホームページ（ブログ）などのイベント告知	16.7%
② キャンサーチャンネルのイベント告知	8.3%
③ UDXオープンカレッジのイベント告知	11.1%
④ 朝日新聞・アピタルの告知	5.6%
⑤ Twitter facebook等のSNS(RT,シェアを含む)	2.8%
⑥ CNJ以外の患者会・支援団体からのお知らせ	1.4%
⑦ 友人・知人に誘われて	8.3%
⑧ 新聞・雑誌などマスメディアの告知	1.4%
⑨ 病院でのポスター告知など	27.8%
⑩ その他（大学内で・DM・会社でなど）	18.1%
無記入	1.4%

（2）あなたのお立場に○印をお願いします。

① 患者（治療開始前）	0.0%
（通院治療中）	8.3%
（治療後フォロー中5年以内）	11.1%
（治療後5年以上経過）	1.4%
（無記入）	4.2%
② 患者の家族・友人	26.4%

③ 医療関係者（医師）	0.0%
（看護師）	6.9%
（薬剤師）	1.4%
（その他・管理栄養士など）	16.7%
（無記入）	4.2%
④ プレス関係	0.0%
⑤ その他（学生・食品関係など）	18.1%
無記入	1.4%

（3）プログラムに関するご感想を教えてください。

■ 基調講演①：吉川 貴己先生「もっと知ってほしいがんと食事・栄養について」

① 大変参考になった	43.1%
② 参考になった	48.6%
③ 参考にならなかった	1.4%
④ どちらとも言えない	2.8%
無記入	4.2%

■ 基調講演②：川口 美喜子先生「食べる喜びを伝える食事のヒントについて」

① 大変参考になった	44.4%
② 参考になった	51.4%
③ 参考にならなかった	0.0%
④ どちらとも言えない	0.0%
無記入	4.2%

■ Q&A トークセッション「もっと知ってほしいがんと食事・栄養のこと」

① 大変参考になった	23.6%
② 参考になった	40.3%
③ 参考にならなかった	1.4%
④ どちらとも言えない	2.8%
無記入	31.9%

（4）治療に関する情報はどのような媒体で入手しましたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような媒体で入手すると思いますか？（複数回答可）

① 医療者（医師・看護師・薬剤師など）	50	89.3%
② 書籍	36	64.3%
③ インターネット	46	82.1%
④ 同じ病気の患者	17	23.6%
⑤ がん患者会	7	9.7%

⑥ 患者団体・患者支援団体	1	1.4%
⑦ 病院の相談窓口	8	11.1%
⑧ NPOなどの相談窓口	0	0.0%
⑨ その他（健康の業者・小冊子・職場・論文など）	5	13.9%
無記入	5	6.9%

(5) インターネットで情報を収集する際、どんなことに気をつけていますか？  
（複数回答可）

① 誰が書いているか、明示されている	46	63.9%
② 情報の出典が明記されている	48	66.7%
③ 情報の更新日が明記されている	30	41.7%
④ 情報発信の目的（営利・非営利）が明確にされている	24	33.3%
⑤ その他	0	0.0%
無記入	8	11.1%

(6) 治療を受けるにあたって、どのような情報が必要でしたか？患者さん・ご家族以外の方は、どのような情報が必要だと思いますか？（複数回答可）

① 施設情報（病院など）	39	54.2%
② 医師情報（専門医など）	40	55.6%
③ 治療法の情報	53	73.6%
④ 薬剤に関する情報	23	31.9%
⑤ 治療以外（心の問題など）の相談窓口	22	30.6%
⑥ 医療費に関する情報	22	30.6%
⑦ 同じ病気の体験談	23	31.9%
⑧ その他	0	0.0%
無記入	5	6.9%

(7) がん対策を進める上で、どの領域がもっと重要だと思いますか？

① がんの予防の推進	15.3%
② がんの検診の推進	11.1%
③ がん治療（研究）の推進	18.1%
④ 治療後の社会的支援	9.7%
⑤ その他（全部・免疫療法など）	5.6%
無記・無効	40.3%

(8) がん治療をよくする上で、患者(患者会・支援団体)の役割は重要だと思いますか？

① 強く思う	50.0%
② 思う	36.1%

③ 思わない	0.0%
④ どちらとも言えない	4.2%
無記・無効	9.7%

(9) もっとも、キャンサーネットジャパンに期待する活動は何ですか？

① がん患者（家族）向けセミナー・イベントなど	13.9%
② がん患者（家族）向け教育プログラムなど	11.1%
③ がん患者（家族）を含めた一般の人へのがん疾患啓発事業	29.2%
④ 体験者同士のピアサポートプログラムなど	2.8%
⑤ がん医療政策提言などのロビー活動	4.2%
全て	0.0%
無記・無効・複数回答	38.9%

～今回のセミナーで新たに得られた情報はありますか？～

【患者】

通院治療中

- ・EPA ががんをおさえそうな栄養であること。
- ・食事については、肉を食べない方が良いのか？と悩むこともありましたが、肉を食べない方が良い/食べてはいけないという話ではなく、安心しました。
- ・EPA ががんの効果があること。
- ・治療を行いながら副作用を緩和しながら楽しい食事が出来れば、気持ちも前を向く力になるのですね。頑張ります。

治療後フォロー中5年以内

- ・食事だけでなく、筋力維持が大切ということ。
- ・鮭ハラスにEPAが多い。
- ・がん専任の栄養士さんがいること。術前後、退社後の食事フォローのサイクルがある病院があること。
- ・取りすぎると逆効果となる食物もあるということ。
- ・やはり日常のバランスの良い食事。

無記入

- ・EPAが良いということ。
- ・川口先生のお話がとても具体性があり、有意義で良かったです。参考になりました。

【患者の家族・友人】

- ・HMBとEPAの効果。
- ・がんの仕組みについて。がん患者の食事の工夫。

- EPA、HMB の必要性。食事＋サプリを取ることが意外でした。
- エレンタールという商品の存在。口の粘りの解消方法。
- HMB、EPA について。フルーツを凍らせて食べたり、生クリームを作ったものが食べやすいということ。

#### 【医療関係者】

##### 看護師

- 治療の前にまず栄養状態＝全身状態が良いこと！ということ強く学びました。病院によって「これしかありません！」と言われることが多かったので、治療のくすりを選ぶ前に病気をってしまった患者の体を見てからはじめてほしいと思いました。

##### 薬剤師

- 新しい知見があり参考になりました。

##### その他

- がん細胞の仕組みとそれに対する食事療法。
- がん細胞の特性。
- 食事とサプリメントの関係。HMB と EPA。

#### 【その他】

- EPA の効果について。
- HMB を初めて知りました。
- がん患者さんの体重減少の重大さについて（危機感など）。
- 食事、運動と前回からの継続した情報もあり、関連性のあるテーマで理解しやすかったです。
- 食べることは生きること。川口先生のお話には目からウロコでした。工夫は大切ですね。

～もっと知りたい情報は何か？～

#### 【患者】

##### 通院治療中

- セカンドオピニオンの活用法。
- 有料でも良いので調理実習的なものも期待します。
- 肉腫に関する情報。

##### 治療後フォロー中 5 年以内

- 動注治療の方法、効果について。
- 食の安全、日本の食品は輸入禁止になった国がある。（米・FDA）。医食同源、食べて治す方法をもっと詳しく。

- ・副作用について（抗がん剤－放射線治療）。
- ・がんの再発、転移をおさえるための療法、薬剤など。

無記入

- ・何を食べたら最も効果的なのか？

【患者の家族・友人】

- ・乳がん再発、転移防止となる効果的な食事。逆に非効果的な食材。
- ・がん細胞について、専門的で難しい話だったので、もう少し詳しくお聞きしたいと思いました。
- ・具体的な食事の取り方、例。テーマを絞ってでも。時間がかかると思いますが。
- ・食事療法でがんを治している医師がいるそうですが、そういう方の講演をお願いします。
- ・患者（家族）への精神的ケア。
- ・食べたくない、おなかがすかない→やせる。動くエネルギーがない→運動する力もない→筋量低下→食べたくない。この悪循環をどうやって断ち切れればよいのか？特にもともと食べることに興味の薄い人の場合、とても難しいのですが。
- ・EPA をサプリメントでとって良いとの事でしたが、どのようなサプリを選べば良いのか。（信用できるサプリの選び方）
- ・がんになった後の情報が欲しい。予防の情報はたくさんあるのに、なった後の情報はとても少ない。

【医療関係者】

薬剤師

- ・今後の講演内容をひと通り聞いて、その後考えたい。

その他

- ・食事の具体例、色々なケースをみたいです。

【その他】

- ・がん患者の心情。
- ・臓器ごとのがんの特徴。栄養療法（栄養管理方法）について。

～その他、セミナーに参加してのご感想・ご意見等～

【患者】

通院治療中

- ・入場時に中央の席に座るよう案内してほしい。端に座る人が多く、中央に入りづらい。
- ・本日はありがとうございました。今日のセミナーは栄養が不足している方向けの情報が主でしたが、別の視点での話（肥満気味）もききたかったです。

## 治療後フォロー中5年以内

- 時間があっという間に過ぎてしまう感じで、大変参考になりました。このような機会をありがとうございます。
- ありがとうございました。
- ちょっと会場が寒かった。スライドが少し早かったので、スライドの数は少なくてもゆっくり見せてほしい。がん体験者のセミナーは充実した内容だと思うが、個人で受講するには高額な気がする。
- 栄養を効率的にとる調理方法などもっと詳しく。食欲がない時にどうすれば食べたいとか、食べやすい方法を。

## 【患者の家族・友人】

- 初めて参加しましたが、非常に参考になりました。それと同時に心が少し楽になりました。私の場合、姉が乳がんです。今もそうですが、これからも家族全員で支えあって生きていこうと強く思いました。そして姉の気持ちを少しでも楽にしてあげられるよう効果的なレシピを提案してあげたいと思いました。ありがとうございました。
- 3年前に亡くなった父が胃がん患者でした。その当時の食体験をきっかけに管理栄養士を目指しています。今回の川口先生のお話を伺って「がんになった患者さんも工夫次第で楽しい食事ができる!」ということを教えてくださいました。これからも食の可能性を信じて、川口先生のように人に寄り添える栄養士を目指して勉強していきたいと思えます!ありがとうございました!
- 術後患者、なかなか栄養に関するセミナーが少ないので、大変良かったです。またお願いします。ありがとうございました。
- 川口先生の講義は参考になりました。がん患者の多くは栄養食品やサプリメント、プロポリスも高いお金で購入しています。
- 初めて参加しました。患者家族が欲しているものは、がんを治すための具体的な即効性のある方法です。その観点からすると物足りない気がしました。

## 【医療関係者】

### 看護師

- 病気を治すためには「全身状態＝栄養状態をよくすること!」なのだということを強く学びました。栄養剤も併用しながら食べて体を強くすることが何事にも大事なのですね。
- 普段の食生活が大切ということをあらためて感じた。食事の考え方は個人差も多く、一般論でいうと広く浅くになってしまう。根拠をつめていたので大変良かったと思う。病院でのNSTの役割を紹介して欲しかった。(栄養士がベッドサイドに頻繁に行く現状にはない)。
- 大学病院で勤務していますが、患者さんに合った食事を検討したいと思っていますが、なかなか対応しきれない状況です。栄養補助食品をすすめたり、薬剤として対処できるものをお渡しするのが精一杯です。病院経営のスリム化、医療費の改定など対応が

難しい状況ですが、なるべく改善できるように働きかけられたらいいと思いました。

#### 薬剤師

- ・開講時間を7時半では少し遅いので、せめて6:30~7:00にお願いしたい。

#### その他

- ・ちょっとわかりにくい部分を平子さんが先生方に伺ってくれたので、とてもわかりやすくなりました。もっとかんたんな単語にして頂けると助かります。
- ・川口美喜子先生の患者により添った実践、工夫がすばらしかった。患者指導に活用できる内容が豊富で、今後に役立つと思う。
- ・大変参考となりました。患者さんにとっては情報が何よりで、大変良い企画だと思えます。医療関係者にもっと浸透できると良いと思います。

#### 【その他】

- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・初めて参加しましたが、とても勉強になりました。また他のセミナーに参加したいと思います。
- ・吉川先生、川口先生共に、専門用語をあまり用いず、わかりやすく説明していて良かったです。
- ・初めて参加させてもらいました。お医者さんから、がんについて、体の仕組みについてお話いただき、川口先生からは、具体的な栄養のことについて分かりやすく、とてもためになりました。